

くらしの作文

2019.2.3

私は大学のオーケストラサークルに所属している。担当楽器はファゴット。一般にはあまり知られていない楽器だが、とても魅力的な音色を奏でる。

私とファゴットとの出会いは、高校一年の時、吹奏楽部でだった。最初はフルートを希望していたが、人数の関係で他の楽器にする必要があった。

それで選んだのがファゴットだった。当時は聞いたことも見たこともない楽器だったが、先輩の吹いているファゴットの音に一瞬でとりこになった。

そんな中、オーケストラの演奏会を、友人と聴きに行っ

ファゴットと私

佐藤 千織 (名古屋市守山区=大学生・19歳)

た。そこで聴いたファゴットは、管楽器と打楽器のみの吹奏楽より何倍も生き生きとして聞こえた。この時、私は高校を卒業したら弦楽器も加わるオーケストラでファゴットを吹こうと決意した。

現在、吹奏楽とはちよつと違った楽しさを感じつつ、オーケストラでファゴットを吹いている。

吹奏楽とオーケストラでは、ファゴットの立ち位置も変わり、難しいことも多くある。しかし、オーケストラを選んできた心から思っている。

今後もファゴットとともに、充実した時間を過ごしていきたい。

※アナウンサーの音読が東海テレビ・ホームページで聴けます。